

フェンスAA 切詰端部カバー TS1型用

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「各ページの右上」または「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

-  **警告**
- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

-  **注意**
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

-  **お願い**
- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分16(C種)以上で施工してください。
 - 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
 - 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
 - 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
 - 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。

□ 施工上のご注意

⚠ 注意

- ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
〈推奨トルク〉アルミ φ4ネジ：1.5N・m±0.5N・m (15±5kgf・cm)
樹脂 φ4ネジ：1.0N・m±0.5N・m (10±5kgf・cm)
- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- 組付け後、必ず鋭利な切断面やバリが露出していない事を確認し、修正してください。ケガをするおそれがあります。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ネジにゆるみがないか確認してください

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

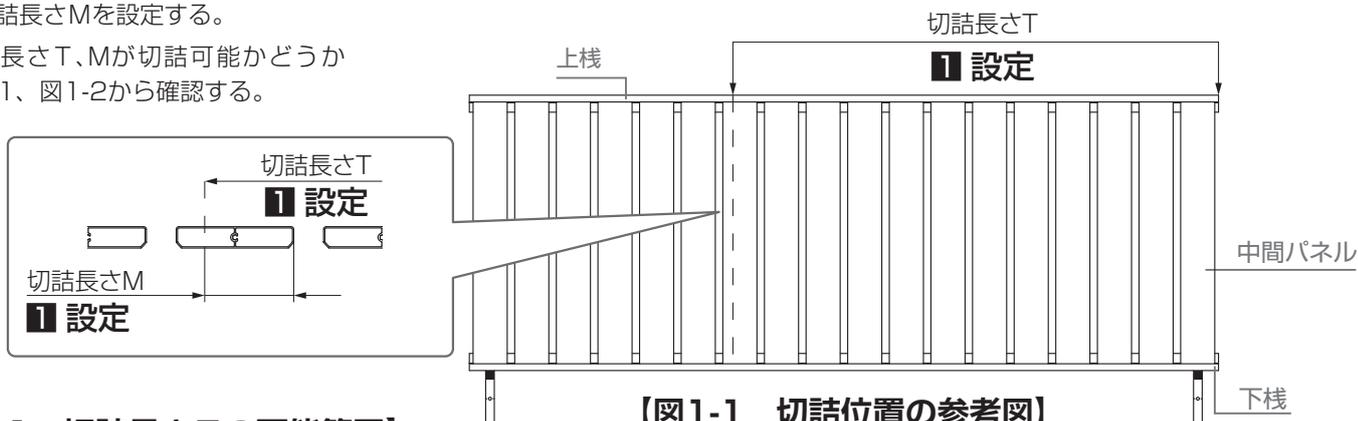
1 切詰位置の決定とケガキ

補足

- 切詰端部カバー TS1型用は、TS1型中間パネルを縦割りで切断することができます。
- 中間パネルを縦割りしない場合は、C456取説の切詰寸法を参照してください。
- 中間パネルを縦割りする場合は、図1-2の可能範囲を確認してください。
- 切断する中間パネルは、必ず切詰端部カバー TS1型用に同梱されている、切詰用中間パネルを使用してください。
- 上棧、下棧、上下枠の切断位置と、切詰用中間パネルの切断位置は2mm異なります。
- 部材を切断する際は、フェンスを必要部分まで分解し、1部材ずつ切断してください。
- 本取説は道路側から見て左から切り詰める際の図を用いています。右から切り詰める際は左右反転になります。

1: フェンスの切詰長さT、中間パネルの切詰長さMを設定する。

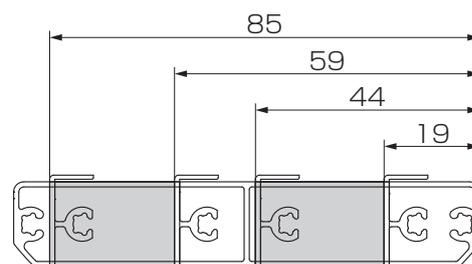
2: 切詰長さT、Mが切詰可能かどうか表1-1、図1-2から確認する。



【図1-1 切詰位置の参考図】

【表1-1 切詰長さTの可能範囲】

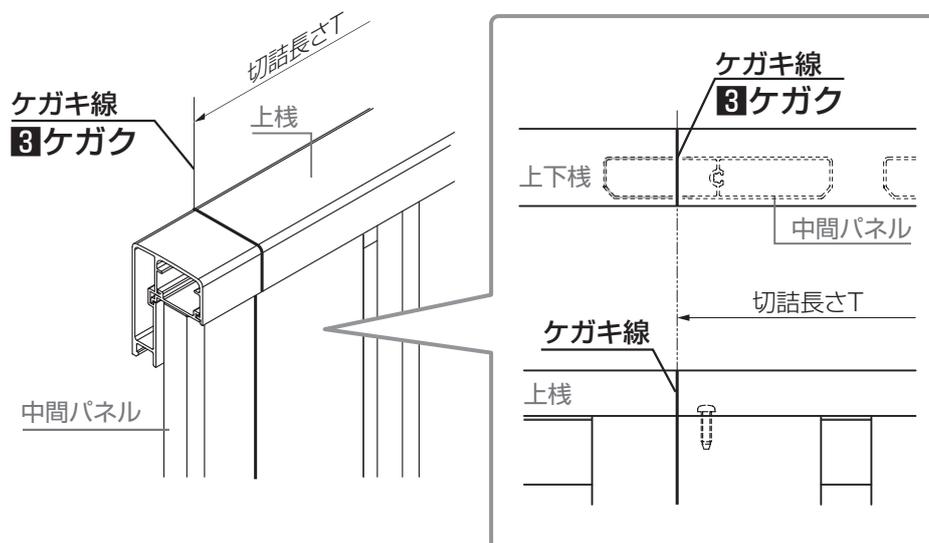
パネル枚数	Tの切詰可能範囲(mm)		パネル枚数	Tの切詰可能範囲(mm)	
1	136~163	178~204	10	1137~1162	1177~1203
2	249~274	289~315	11	1248~1273	1288~1314
3	360~385	400~426	12	1359~1384	1399~1425
4	471~496	511~537	13	1470~1495	1510~1536
5	582~607	622~648	14	1581~1606	1621~1647
6	693~718	733~759	15	1692~1717	1732~1758
7	804~829	844~870	16	1803~1828	1843~1869
8	915~940	955~981	17	1914~1939	1954~1980
9	1026~1051	1066~1092	※パネル枚数は切詰しない部分の枚数です。		



※黒塗りの部分が可能範囲です。

【図1-2 切詰長さMの可能範囲】

3: T、Mが切詰可能長さであった場合、Tの位置の上棧、下棧、中間パネルにケガキ。



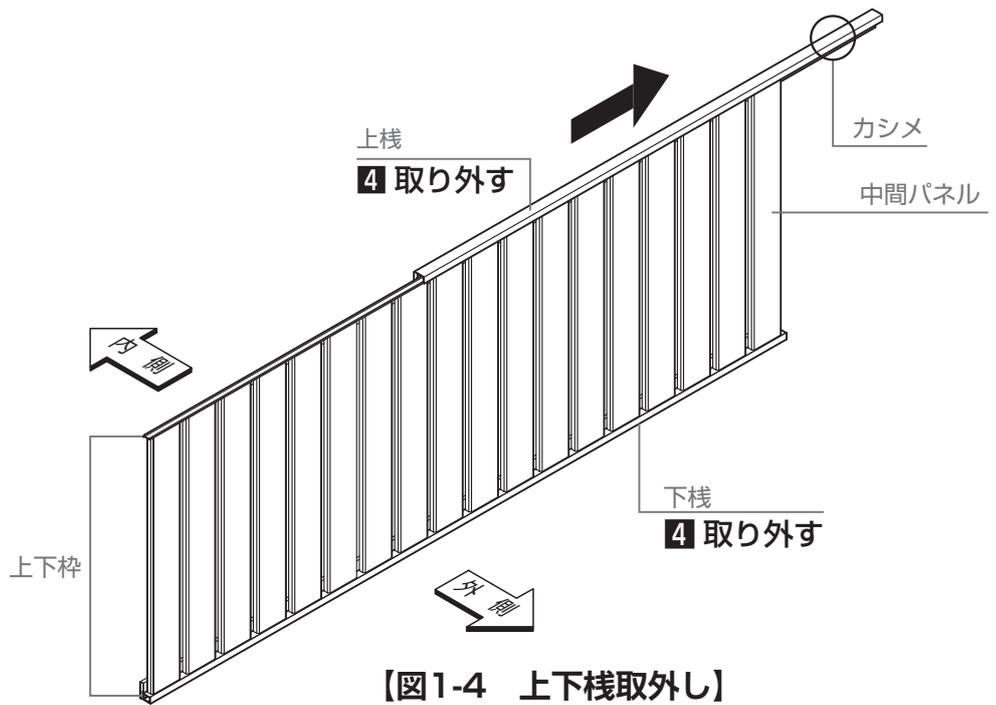
【図1-3 上棧・下棧のケガキ】

1 切詰位置の決定とケガキ

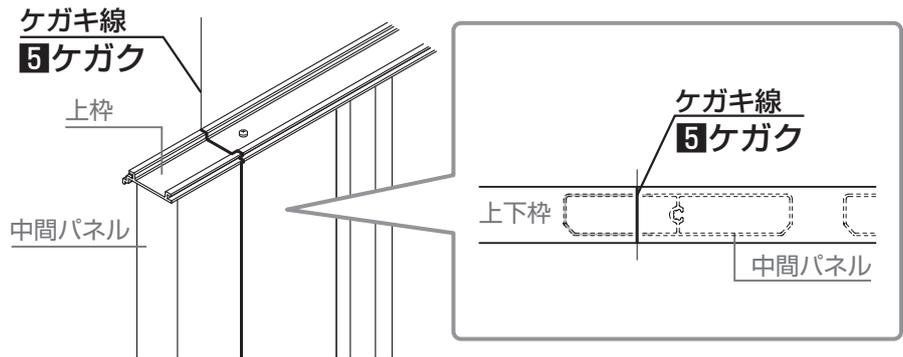
4: 上棧、下棧を取り外す。

お願い

●外側からみて、上棧・下棧の右部にはズレ防止のカシメがついています。上棧・下棧を取外す際は、図の様に右側へスライドさせて引き抜いてください。カシメが強く、上棧・下棧が抜けにくい場合は、当て木をしてゴムハンマー等でたたいて抜いてください。



5: 上下枠を、中間パネルにケガいた位置と同じ位置でケガク。

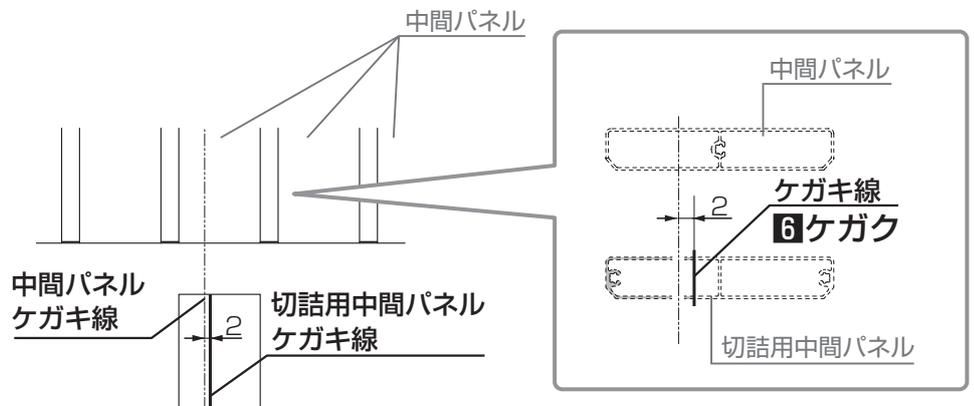


6: 切詰用中間パネルに、中間パネルをケガいた位置より2mm短い位置でケガク。

補足

●3でケガいた中間パネル（フェンスに組付いていたパネル）は以降使用しません。

7: 切詰用中間パネルを取り付ける位置までフェンスを分解する。



2 切断と穴加工

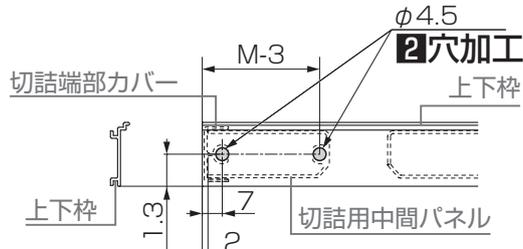
1: 上下枠・上棧・下棧・切詰用中間パネルをケガいた位置で切断する。

2: 上下枠にφ4.5の穴加工をする。

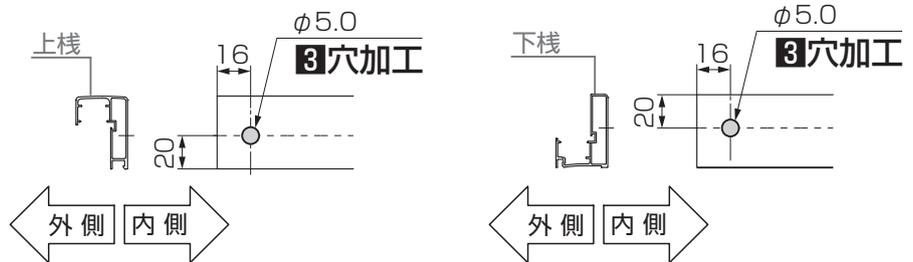
補足

- 1 切詰位置の決定とケガキ で設定した切断長さMを用いて穴位置を決めてください。

3: 上棧・下棧にφ5.0の穴加工をする。



【図2-1 上下枠の穴位置】



【図2-2 上棧・下棧の穴加工】

3 切詰単部カバーの取り付け

[1a] φ4×15ナベタッピンネジ2種

1: 切断した切詰用中間パネルの切断面に、横ルーバークッションを片側4箇所(合計8箇所)に上下の端部から50mmを基準にして均等に貼り付ける。

2: 切断した切詰用中間パネルを上下枠に【1a】で取り付ける。

3: 切詰端部カバーを上下枠に【1a】で取り付ける。

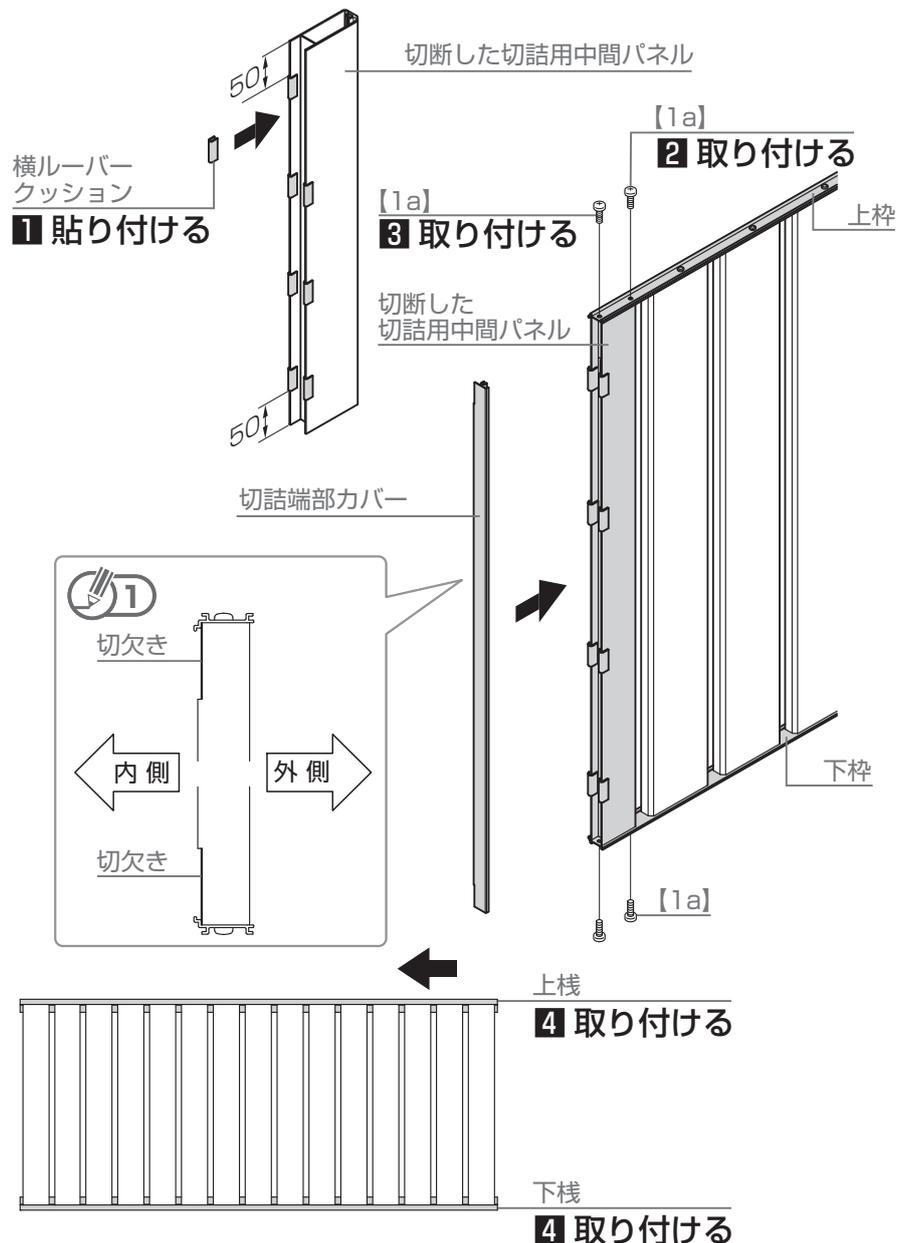
補足 1

- 切詰端部カバーは、内外の向きに注意して取付けてください。

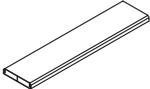
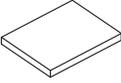
4: 上下棧を上下枠に取り付ける。

補足

- 上下棧を取外した時と同様に、上下棧のスライド方向に注意してください。



梱包明細表

【1】切詰端部カバー (TS1型)		
名 称	略 図	員 数
切詰端部カバー		1
切詰用中間パネル		1
横ルーバークッション		8
【1a】φ4×15ナベタップピンネジ2種		4
取付説明書<C461>	—	1

※取外したネジを再利用した場合は【1a】は余ります。

以下余白。

